

令和2年9月31日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和2年 9月 23日（木）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	9人	知見を有する者等	0人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	3人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

【行政からの伝達事項】

- ・ 9月30日にコロナウイルスの研修会を行う。困っていることはないか確認される。
- ・ 研修会等リモート開催されている研修もある。



コロナウイルス関連でどのように対応して良いか分からない点は、研修会の質問票を活用させてもらったことを伝える。

【入居者状況】

入居者9名（女性 8名 男性 1名）

平均年齢 90歳 平均介護度 2.3（1～5）

【活動状況】

- ・ 散歩・ドライブ・日光浴・訪問カット
- ・ 生け花・計算ドリル・塗り絵・新聞折り・縫物・書写
- ・ ホーム行事～・夏祭り・土用の丑の日 食事会 ・茶話会
 - ・ 美濃路のひまわり畑へドライブ ・ホーム演奏会
 - ・ スパッタリング（絵具を使用した絵）

- ・ 家族の方に手紙を書く
- ・ 敬老会

【教育】

勉強会～介護と腰痛

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 3件（転倒・・・2件 薬紛失・・・1件）
- ・ ヒヤリハット 0件

【身体拘束適正委員会】

- ・ 身体拘束に繋がる行為について、職員全員で確認する
- ・ 虐待防止研修会実施
- ・ 虐待防止自己チェックを行うが、悪い点ばかり見るのではなく、自分が行った良いケアも評価できるようなチェック表に改善した

【その他】

- ・ コロナウイルスの影響で地域行事の参加や買い物等に出かけたりすることができなくなり、ホームで代替えの楽しみの支援を継続的に行っている。ホームで夏まつりを行い、夕食は田舎寿司を作り食べてもらい、夜は庭で花火を行った。又毎年敬老会は地区の方が来てくださり踊り等を披露してもらい楽しむことが出来ていたが、今年は職員のみで敬老会を行った。
 - ・ 家族の方の面会も解除したり、制限したりとコロナ感染状況により対応しているが、面会された方もおられたり、地域によっては面会が制限されたままの方もおられる。その為、家族の方（主介護者以外の家族の方にも）に入居の方が一言かかれ手紙を送った。家族の方も大変喜ばれ、返信をしてくださったりと、親子お繋がりには維持できるよう努めている。
 - ・ 面会や外来者の来所制限が続く中で、ホームが閉鎖的にならないよう、ホームでの過ごし方や様子をお便りでご家族の方に伝えたり、近所の散歩やドライブに出かける等、ご家族の方が不安に思われないよう出来るだけオープンにしている。

(参加者の方より)

- ・ コロナウイルスに関連して、職員の負担が多く大変だと感じる。
- ・ 面会も制限せざると得ない状況で、たとえ解除になっても、施設に迷惑をかけてはいけないと思われることもあるのではないかと。面会に行きたいけど行け

ないのが現状のような気がする。



感染拡大地域の方は面会が出来ず、辛い思いをされている。ドア越しの面会を行ったり、今後はリモート面会が可能となるよう準備している。

- 地域行事

地区の活動も中止の状態は続いている。(お祭りや年末のしめ縄作りも中止)
元気体操は密にならないよう窓を開けたり消毒したりと気を付けながら行っている。

- 地域のボランティアの受け入れが出来るとなれば、地域の方に声をかける事が出来るので言ってほしい。